

忘れずに備えよう！災害用備蓄品！！

町では準備しています

町の主な備蓄品

町では、地震に備えて備蓄品を備蓄しています。

なお、各家庭でも非常食や水を最低3日分、また着替えや防寒具など身の回りのものを準備しておきましょう。

町では、これら備蓄品のほか、災害時における食糧品などの優先供給について、民間事業者と協定を締結しています。

町が現在備えている備蓄品の一覧表（平成23年3月1日現在）

品 目 名		数 量	単 位
主食	アルファ米	4,250	食
寝具	毛布	1,526	枚
日用雑貨	スプーン、紙コップ・紙わん、紙皿、割り箸、哺乳器（ビン）など	21,845	点
医療用品	救急箱、担架、簡易ベット、車椅子など	3,207	点
応急対策資機材	給水袋、給水バケツ、ブルーシート、ポリタンク、メガホン、スコップ、つるはし、バールなど	3,211	点
生活用資機材	簡易組立トイレ、テント、かまどセット、釜・鍋セット、ろ水機、野外移動式ガス煮炊釜、バケツなど	122	点
その他	軍手、ガソリン、ヘルメット、発電ラジオ、懐中電灯、ラジオ、アルミブランケットなど	1,782	点

皆さんの家庭でも準備が必要！

地震への備えは、一人ひとりの準備が大切です。

日頃から、非常備蓄品や家族の緊急連絡先などについて確認しておきましょう。

ライフラインの停止や避難に備えた備蓄を

災害が発生すると、電気や水道が止まったり、道路が寸断されることが想定できます。

最低3日分程度の生活ができる水や食糧、生活用品を備蓄し、避難する場合に持ち出すものを普段から準備しておきましょう。

【非常用品として備えておくもの】
非常用品は3つに分類できます。避難時に持ち出すものとしての「非常持出品」、地震直後の火災や家屋倒壊等に備えるものとしての「防災準備品」、地震後の生活を支えるものとしての「非常備蓄品」があります。

○非常持出品
両手が使えるリュックサックなどに避難のとき必要なものをまとめて、目につきやすい所に置いておきましょう。

飲料水、携帯ラジオ、衣類、はき物、食糧品、マツチやライター、貴重品（現金・通帳）、懐中電灯、救急セット、雨具（防寒）、ウエットテイツシュなど

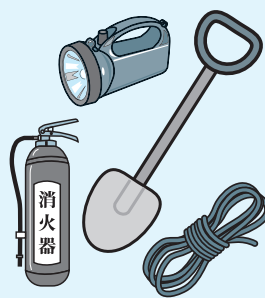
非常持出品



○防災準備品

地震直後の火災や家屋倒壊等に備えるもの
・火災に備えて：消火器、風呂の水のくみ置きなど
・避難や救出に備えて：スコップ、バール、防水シート、ノコギリ、手袋など

防災準備品



○非常備蓄品

地震後の生活を支えるもの

・停電に備えて：懐中電灯（予備電池含）、ローソク、マツチ
・ガス停止に備えて：簡易ガスコンロ、固形燃料
・断水に備えて：飲料水（ポリ容器などに溜めておく）

非常備蓄品



◎問い合わせ 危機管理対策室
☎内線 241・244